

化石のふしぎ2 ～花粉化石～

花粉化石とは、大きいもので $150\mu\text{m}$ ($1\mu\text{m}=1\text{mm}$ の 1000 分の 1 の長さ)、小さいのもで $10\mu\text{m}$ 程度の花粉の化石です。ちなみに、私たちの髪の毛の太さは約 $80\mu\text{m}$ なので、花粉化石は顕微鏡で観察しないと見るのが難しいのです。

今回は花粉化石について、展示室で調べてみよう。

1. スギ属の花粉化石について、調べてみよう。

- ① 現在「スギ・ヒノキ」は沖縄県に…

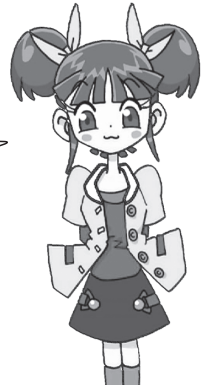
(自然に生えている 自然に生えていない)

- ② スギ・ヒノキの花粉化石が見つかったということは…

現在も生育している証拠

鮮新世末から更新世前期ごろに確実に自生していた証拠

花粉も化石になるのね~!!



2. あなたも名探偵!

推理：熱帯から亜熱帯の植物である「サルスベリ」の花粉化石が、最終氷期（約 2 万年前）の地層から見つかりません。これはいったいなぜなんだろう？ということが考えられるのでしょうか？

3. 下の問いについて、○×で書いてみよう。（花粉化石のコンピュータにヒントがあります。）

- ① 植物（属レベル）によって、花粉の形がちがう。
- ② 花粉化石から、当時の環境はまったくわからない。
- ③ 花粉化石は、分解されやすいので、地層からほとんど発見されない。